

cinema 203

2025.10

『ミシェル・ルグラン 世界を変えた映画音楽家』

2024 | フランス | 109分 | デヴィッド・ヘルツォーク・デシテス監督

『シェルブールの雨傘』 1964 | フランス | 91分 | ジャック・ドゥミ監督

『ロシュフォールの恋人たち』 1967 | フランス | 127分 | ジャック・ドゥミ監督

『ロバと王女』 1970 | フランス | 90分 | ジャック・ドゥミ監督

【みんなのジャック・ロジェ】 ジャック・ロジェ監督特集

『アデュー・フィリピーヌ』 1962 | フランス＝イタリア | 110分

『トルテュ島の遭難者たち』 1976 | フランス | 146分

『メーヌ・オセアン』 1985 | フランス | 136分

『フィフィ・マルタンガル』 2001 | フランス | 120分

短篇集 『ブルー・ジーンズ』 1958 | フランス | 24分

『パパラッツィ』 1963 | フランス | 22分

『バルドー / ゴダール』 1963 | フランス | 10分

【再発見：アジアへ行こう】 台湾巨匠傑作選 2025 より

『台北ストーリー』 1985 | 台湾 | 119分 | エドワード・ヤン監督

『赤い糸 輪廻のひみつ』 2021 | 台湾 | 128分 | ギデンズ・コー監督



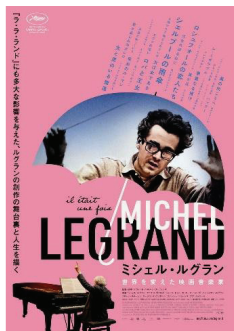
シネマ 203

和歌山市中ノ店北ノ丁22 北ぶらくり丁会館 203 号室
090-8172-7074 cinema203.com



『ミシェル・ルグラン 世界を変えた映画音楽家』 Il était une fois Michel Legrand

デビッド・ヘルツォーク・デシテス監督 (2024 年 | フランス | 109 分) 配給：アンブラグド



🎬 アカデミー賞受賞 3 回、伝説の音楽家の知られざる人生。

1932 年パリ生まれだから、モリコーネの 4 つ年下。ここでも戦後ヨーロッパの新しい映画を担った情熱の芸術家、執念の仕事人の横顔に圧倒されます。軽やかながら凄まじい力で映画そのものを引っ張っていくルグラン音楽の魅力！降り注ぐ多幸感には何が込められていたのでしょうか。2019 年 1 月に亡くなる直前に実現した巨匠最後のコンサートで、音楽誕生の瞬間に立ち会ってください。

オスカー獲得の印象が強いのでしょうか、商店街で「マックイーンはやらないの？」と聞かれました。今回はやはり、映画史に輝く名コンビ、盟友ジャック・ドゥミ監督との絢爛なミュージカルをどうぞ。



♪ ミシェル・ルグラン×ジャック・ドゥミ 名コンビ珠玉の 3 本を同時上映！

『シェルブールの雨傘』1964 | フランス | 91 分

『ロシュフォールの恋人たち』1967 | フランス | 127 分

『ロバと王女』1970 | フランス | 90 分

夢のような歌と踊り、
カトリーヌ・ドヌーヴの
美しさをご堪能ください

【みんなのジャック・ロジエ】 監督特集！ JACQUES ROZIER

『アデュー・フィリピーヌ』1962 | フランス=イタリア | 110 分 短篇集

『トルテュ島の遭難者たち』1976 | フランス | 146 分

『メヌ・オセアン』1985 | フランス | 136 分

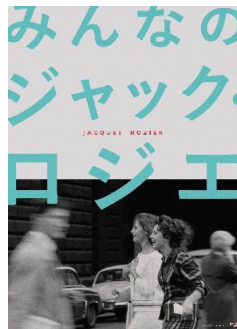
『フィフィ・マルタンガル』2001 | フランス | 120 分

『ブルー・ジーンズ』1958 | フランス | 24 分

『ババラッツィ』1963 | フランス | 22 分

『バルドー/ゴダール』1963 | フランス | 10 分

ジャック・ロジエ監督 配給：エタンチェ、ユーロスペース



🎬 目的地はいらない、答えも別に。そんな自由な冒険に出よう！

『オルエットの方へ』楽しかったですね！ 奔放な 3 人娘と不器用な上司のめちゃくちゃなヴァカンス。笑い疲れて涙がホロリ、そんな繊細な人間の痛みを黙って応援してくれる凛とした映画でした。

ジャック・ロジエは 1926 年パリ生まれ。ロメールよりは下だけど、トリュフォーやゴダール、ドゥミよりちょっと年上。“ヌーヴェル・ヴァーグ”初期の傑作とされる『アデュー・フィリピーヌ』から一貫して、そんな批評家が作った括りは関係ないと言わんばかりの冒険の数々が眩しい監督です。映画の自由をぜび！

『台北ストーリー』《台湾巨匠傑作選 2025 より》

青梅竹馬 | Taipei Story

エドワード・ヤン監督 (1985 年 | 台湾 | 119 分) 配給：オリオ・フィルムズ、竹書房



🎬 台湾ニューシネマを牽引した両輪が刻む、もうひとつの獣道

エドワード・ヤンとホウ・シャオシェンとは、ともに 1947 年生まれで、幼い頃に大陸から台湾に渡ってきたという背景も同じ。なのにそれぞれが監督した映画の手触りはまったく違う！ 80 年代に世界の映画ファンを魅了した“台湾ニューシネマ”は、この 2 人がいなければあそこまで大きな意味を持たなかっただろうし、お互い大きくならなかったのでは……ホウ監督の『冬冬の夏休み』に出演したエドワード・ヤンと同じく、ヤン監督の『台北ストーリー』には、ホウ・シャオシェンが必要だったように感じます。

2 人の監督本人の個性は、実はもう一方の監督の作品の方に近かったのかな、といま思うと面白い。今月は、冷たいカミソリの刃のような、若きエドワード・ヤンをお届けします。

🍷 「2 人」が単数となるとき、悠然と全体を置いていくとき。

アルゼンチンとインドからやってきた 2 人の女性監督を発見して以降、いくつかの“新たな波”について考えています。50 年代のフランスで、小型化したカメラが街に飛び出したこと。80 年代台湾で、同時録音が始まったこと。“新たな波”とはいつの時代も、テクノロジーやシステムの刷新に導かれた新たなゲームの規則の発明でした。どんなにわくわくしただろう！

🍷 🍷 🍷
そんな、誰も挑戦したことなかった新しい映画づくりの冒険を、10 月から見ていきましょう。

音楽が映画を先導した幸福な結晶、ルグラン×ドゥミの楽しい夢物語を 3 本連れて、興奮のドキュメンタリー

がやってきます。映画音楽家よりもまず、最後まで現役の演奏家であった究極の人生を、明日への活力にぜひ。

先月に続くジャック・ロジエ特集からは、人生への励ましを受け取ってください。彼の勇敢な冒険は、カラッと明るい和歌山にピッタリだと思います。

そして、台湾映画の来た道をゆっくりと。ホウ・シャオシェンとエドワード・ヤンに続き、和歌山初登場のワン・トン監督特集は、本町文化堂のイチオシです！

🍷 🍷 🍷
3 度目の秋。今年もよろしくお願いします。

(北ぶらの 3 年生より)



台湾巨匠傑作選 2025 より

『赤い糸』他ワン・トン監督特集

『赤い糸』日本最終上映

侯孝賢の青春映画

仏映画の<ある視点>

and more の年末年始！

🍷重要：本町文化堂 [音楽と無声映画 vol.9] は 10/19(日)『花嫁人形』です！遂にエルンスト・ルビッチ登場！